

公明党千葉市議会議員団



救急救命の重要な課題への取り組みは

救急出動件数が過去最高となる中、迅速な救急搬送を、本当に必要な方のために行えるようにするためには、救急車の適正利用に向けた取り組みの総合的な検討や、医師会等との医療連携による適切な搬送病院の確保が重要となる。こうした課題を踏まえた、今後の取り組みについて伺う。

救急車の適正利用に向けては、NPO法人との協働による不適切な頻回利用者対策等に、前年度に引き続き取り組むほか、転院搬送ガイドラインの策定についても検討していく。また、搬送病院の確保については、医師会や市内医療機関の協力の下、初期・二次・三次の総合的な救急医療体制を整備してきたが、医師や看護師の確保が困難との理由で、体制から撤退する病院



救急車の適正利用への取り組みが求められる

も出ている。そのため、青葉看護専門学校から市内医療機関への看護師供給をより一層進めるなど、スタッフの充足に努め、搬送病院の確保に取り組んでいく。

早急に「千葉市国土強靱化地域計画」の策定を

現在、「国土強靱化基本法」に基づき、各地方自治体で地域の状況に応じた国土強靱化地域計画が策定されているところである。本市は、今後30年間での震度6弱以上の地震発生確率が、全国の主な都市の中心部で最も高いことが政府の調査で示されていることから、早急に「千葉市国土強靱化計画」を策定すべきと考えるが、検討体制の構築及び策定に向けた基本的な考え方とスケジュールを伺う。

本計画は、本市のさまざまな分野の計画等の指針となるべきものであることから、全庁横断的な検討体制を構築し、専門家や市民の意見をいただく必要がある。また、策定に向けては、国や県の計画との整合を図りつつ本市の特性を考慮するとともに、首都直下地震等に対する地域の脆弱性を評価し、強靱化すべき分野の明確化を行った上で、ソフト面・ハード面の組み合わせ等を考慮

した計画とすることを考えている。今後は速やかに検討体制を構築し、策定の方針決定、脆弱性の評価を実施の上、具体的施策及び数値目標の検討を行い、計画を策定していきたい。

両市立病院の統合について検討を

市立海浜病院は、夜間の救急診療における、医師への過重な負担とそれに伴う人員確保の問題や、病院が被災した場合の大きなリスク等を抱えている。また、現在の両市立病院の規模では、収益改善を見込むことは困難な状況である。こうした厳しい現状を踏まえた、今後の医療体制のあり方として、両市立病院の統合を将来的に検討すべきと考えるが、見解を伺う。

現行の2病院体制は、市内を分割してカバーできる利点がある一方で、人員や医療機器をそれぞれの病院に配置しなければならなくなっている。また、内閣府によると、大規模病院ほど、収益増加によって収支改善を果たした例が多い状況が確認されている。こうしたことから、今後の両市立病院のあり方については、これまでの2病院体制を前提とした再整備のみならず、将来的には、両市立病院の統合も含めた議論を行う必要もあると考える。

日本共産党千葉市議会議員団



電力小売り全面自由化への適切な対応を

本市では、電力小売りの全面自由化に伴い、市有施設での電気供給契約の一般競争入札を開始しているが、一部の契約が従来のままであることは課題である。これまでの電力料金縮減の成果を伺う。

また、従来のままの契約を一般競争入札とした場合と、市の施設を全て、エネルギーの地産地消である地域密着型の電力にした場合の、それぞれの効果について伺う。

これまでの成果として、平成27年度は市有施設254施設について、4件に分けて入札を実施し、従来の契約に比べ約9千万円の縮減効果が得られている。

また、従来のまま契約をしている施設への入札の導入については、施設ごとの使用条件が異なること、小規模施設については事業者の入札参加が見込めない状況であることから、現時点で、効果の試算は難しい。そして、市の施設を全て地域密着型の電力にした場合についても、運営形態が多岐にわたること、供給電源等の調達方法などの条件が異なることから、効果を示すことは難しいと考える。

今すぐ小中学校へのエアコン設置を

小中学校へのエアコン設置は、命にかかわる問題であり、これまで市長や議会に対し、住民運動や署名活動による要請を続けてきたところである。また、すべての教室にエアコンの設置計画を求める請願が本年第2回定例会で継続審査とされた。今すぐに市長は、小中学校へのエアコン設置を進めることを決断すべきではないか。

教育環境の整備に当たっては、先送りとなっている外壁改修等の老朽化対策や、トイレ便器の洋式化等を最優先に実施していく。エアコンについては、近隣への配慮から、窓を閉め切りにして授業等を行わなければならない音楽室のほか、特別支援学級や特別支援学校に、今後5～6年をかけて設置していく。普通教室への設置に



については、市民や専門家、有識者等の意見を十分に聴取する必要があることから、エアコン設置を含む学校施設のあり方など学校教育施策全般を対象とする審議会を平成29年度に設置すべく、教育委員会内でチームを設置し検討を進めているところである。

「災害に強い千葉市づくり」のための備えは

首都直下型地震発生の危険が警告されるなど、自然災害への備えがますます重要となる中、「災害に強い千葉市づくり」のためのあらゆる災害への備えは待ったなしであるが、本市の取り組みを伺う。

本市における災害に対処するための基本的かつ総合的な計画である地域防災計画では、東日本大震災以降、その教訓や他の自然災害の状況等を踏まえ、平成25年4月に地震対策の強化を図るとともに、放射性物質事故対策を追加した。さらに、平成26年3月には雪害対策の強化、火山災害対策を新たに加えるなど、より多様な災害を想定し、対策を講じている。今後も国内外での災害状況や新たな科学的知見に基づく災害予測等を踏まえ、さまざまな災害への対策を推進していく。

用語解説

※ ジェネリック医薬品
これまで有効性や安全性が実証されてきた新薬と同等と認められた低価格な医薬品

